

デザイン学科講師 白井 拓朗

1. 研究活動

展覧会 名古屋芸術大学教員展	2015. 6. 12 ~ 17	名古屋芸術大学アート& デザインセンター	記憶と創造の関係をテーマとした作品。映像 とオブジェによるメディアインスタレーション。
論文 デッサンからドローイング —発想の基点—	2016. 3. 10	名古屋芸術大学教職セン ター研究紀要 第4号	デザインやアートに必要な“発想の基点” に焦点を当て、デザイン教育での絵画的思考 の実践可能性を考察しながら、授業で行なっ た、デッサンからドローイングまでの流れを 再検証している。

## 2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 デザイン基礎演習D	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
“観察－描く－考える”を目標に、前半では共通のテーマや描き方のルールを設定し、描かれた表現の違いを確認するようにした。後半ではそれぞれの学生が自らテーマを設定し、様々な紙や描画材を使用しながら、自らのテーマと表現の関係を考えて制作したものを、オリジナルのドローイングブックとして提示できるようにした。	描画用紙
授業科目名 デザイン実技Ⅲ-1 (MC) MCD	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
ウェブサイトの基盤技術であるHTMLと表示形式をコントロールするCSSを使用し、自らのポートフォリオサイトを作成することで、ウェブサイトデザインの基礎を学ぶ。後半では、それぞれの制作スピードに合わせて個別に相談するようにした。	HTMLやCSSの説明用プリント
授業科目名 デザイン実技Ⅰ (F1)	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「あなたの素材観（感）」 個々が携わっていく様々なデザインワークにおいて必要となる、取材・リサーチ作業を重視した。それぞれのテーマや作業スピードが異なるため、毎回個別に進行状況の確認と相談をするようにした。	
授業科目名 立体造形	
◆前期 <input type="checkbox"/> 後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「回転体による成形実習」 学内で回転体として見ることができる形態を観察した上で、成型可能な形態イメージをスケッチし、実際に成型可能か検討しながら図面化する。さらに図面に基づき回転成型による石膏モデルを完成させる。	

授業科目名 デザイン実技Ⅲ-4（MC）MCD	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
前半は、ここまで進めてきた自らのテーマを発展させるため、鑑賞者との関係を考えて上での展示・インスタレーションを想定し、個々の状況やテーマに合わせて進めながら、学内ギャラリーでの展示・プレゼンを行った。後半では、ここまでの内容を、電子書籍としてまとめるようにした。	
授業科目名 デザイン実技Ⅱ-4（MC）MCD	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
産学共同研究として、NPO法人と防災グッズの制作を行った。グループワークを通して外部とのコミュニケーションデザインについて取り組んだ。	東京防災など、防災関係資料
授業科目名 デザイン実技Ⅰ（F3）	
□前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
「ピクトグラムとタイポグラフィ」 自分が伝えたい内容を一度言語化し、それを視覚的に整理しピクトグラムとして展開する。使用する色数を限定することで、ピクトグラムで必要となる視認性を意識するようにした。	

### 3. 学会等および社会における主な活動

模擬授業 名古屋市工芸高校	2016. 1. 20	ストップモーション・アニメーションの歴史と作品を紹介した上で、パソコン画面を利用した作品制作を行うワークショップ。
講義 岐阜工業高校	2016. 2. 17	ウェブサイトやスマートフォンに見られるUIを起点にして、デザインについて考える講義を行った。